

今後のつじマラソンのあり方について

伝統あるつじマラソン大会は、平成31年1月の第43回開催から早3年の月日が経過しました。この間、自然災害やパンデミックなど未曾有の災禍に見舞われ、苦渋の決断で開催を見送りました。

また、茂原公園の一部において、経年劣化によりマラソンに適していない状態も確認されたことから、このたび開催場所の見直しを検討しております。

検討ポイントとして、①アクセス性、②駐車場の充実、③コースの安全性などを重点的に確認し、候補地を複数選定しております。新型コロナウイルス感染状況にもよりますが、令和5年には開催できるよう鋭意準備を進めております。

今までよりも安全に、快適に、さらに盛り上がるイベントを目指してまいりますので、今後の続報にご注目ください。



長生地区青少年相談員連絡協議会からボールを寄贈

令和4年1月12日(水)、長生地区青少年相談員連絡協議会から管内小学校全25校へ、記念品として高学年用1個、低学年用1個の計2個のドッジボールが寄贈されました。

子どもたちがスポーツを身近に感じてもらうきっかけとなれば幸いです。



齊田会長から萩原小学校村澤校長先生にボールが手渡されました

eスポーツ基礎知識研修を開催

令和4年2月20日(日)、青少年相談員を対象に、eスポーツ基礎知識研修を開催しました。

これまで私たちの活動は「対面」にこだわりを持ってイベント企画をしてきました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、三密防止の観点より一切のイベントを中止せざるを得ない状況となったことから、オンラインでも開催できるイベントづくりに着手しました。

注目したのは、千葉県内ではまだ盛り上がり欠ける「eスポーツ」。

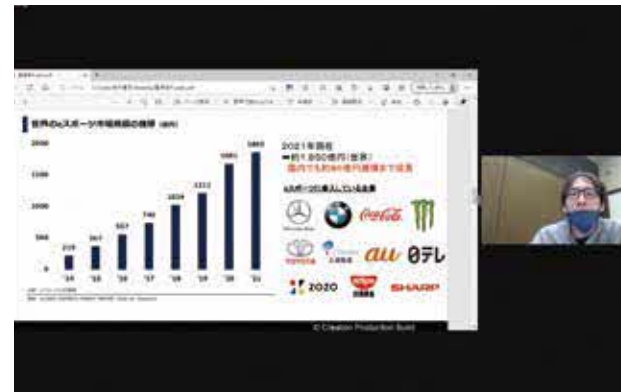
世代によっては「単なるゲームではないの?」とおっしゃる方もいるかもしれませんが、国体(国民体育大会)でも開催されている正真正銘、れっきとしたスポーツです。ただ、身近なスポーツとして浸透していないのも事実です。

そこで、まずは私たちがeスポーツに対して理解を深める必要があると考え、千葉県eスポーツ連合事務局長の米田拓弥氏を講師にお招きし、勉強会を開催しました。

人には得手不得手があります。現在は運動が得意な人が注目されがちですが、これからはeスポーツが得意な人が注目される、そんな未来がすぐそこにあるかもしれません。



研修はリモートとオフラインを併用したハイブリッド型で行いました。



ご自身もeスポーツ選手として活躍されていた米田氏。国内で約86億円の規模まで急成長を遂げているeスポーツについて、詳しく解説していただきました。

回覧

茂原市青少年相談員連絡協議会

青少年相談員だより

発行日/令和4年3月31日
TEL 0475-23-2111(代)

発行所/茂原市青少年相談員連絡協議会(茂原市道表1茂原市教育委員会内)
会長・齊田まゆみ 編集責任者・風戸嘉幸

vol. 103
2022

第1回写真コンテスト 会長賞(最優秀賞)

「初めての雪だるまにビックリ!!」
萩原小学校3年 宇津木史乃さん



コメント:茂原で何年かぶりの大雪に、子供達はビックリ! 初めての雪だるまを作り、朝まで溶けていなくてまたまたビックリ!

を探そう! コロナ禍でも子ども達に楽しんでもらえること、笑顔になってもらえることがきっとあるはず! そのような思いで企画したのが『第1回写真コンテスト』でした。

初めてのことで戸惑いや不安もありましたが、応募作品を見ていると子どもたちの素晴らしい感性やユニークな発想、鋭い視点、そして何よりも笑顔あふれる作品が多く、開催して本当に良かったと思いました。

私が選ばせていただいた最優秀賞の宇津木史乃さん(萩原小学校3年)の作品も、数年ぶりに積もった雪に驚きと喜び、楽しさをいっぱい表現し、後ろから差し込む朝日の光が未来への夢と希望の光のように感じられ、私たちに勇気とパワーを与えてくれました。

今期の青少年相談員の事業はこの写真コンテストのみとなりますが、来期・再来期に向け、新規事業の立ち上げを検討しております。

どうかこれからも私たち茂原市青少年相談員連絡協議会の活動にご指導ご協力をお願いいたしますとともに、20期60年間もの間、青少年相談員を支えてくださいました多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

優秀賞・佳作・入選の作品は2~3ページに掲載しています。



2月14日、齊田会長が萩原小学校を訪れ、宇津木史乃さんに賞状と記念品を手渡しました。

ごあいさつ

茂原市青少年相談員連絡協議会
第20期会長 齊田まゆみ

第20期の茂原市青少年相談員も、3年間の任期がもうすぐ終わります。

記念すべき第20期! 始まった当初は、あんなことしたい、こんなことしたい、夢と希望を持っていました。

が...3年前の大雨・台風・洪水。たくさんの方が悲しい思い、辛いご経験をされたことと思います。やっと少し明るい兆しが見えてきたと思えた2年前、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックが起こり、未だ先が見えない状況で、私たち青少年相談員の事業も、各小学校区で行われていた様々な行事も、中止せざるを得なくなりました。

子どもたちを集めてのイベントができない。私たちの会議すらできない。これほど「青少年相談員のあり方」を問われた期もないのではないのでしょうか。

時代も変わっていくのならば、私たち青少年相談員も変わらなければ。対面での会議ができないならば、Zoomでやろう! 事業も、非接触でできるものがあるのではないか。「ない」「できない」ではなく「ある」「できる」





第1回写真コンテスト 入賞作品介绍



優秀賞 2点 (順不同)

「我が家の霜柱コレクション※」
新治小1年 北田 みか子さん
コメント:ザックザックだったよ(*^_^*)



佳作 3点 (順不同)



「見事!!」
萩原小3年 坂内 海斗さん
コメント:朝からザーザー振りの雨が降って気分も落ち込んで、あーやっと雨も上がってきたと空を見た時、今までに見たことない大きな虹が出てて子供も感動しました!



「雪捕まえた!」
萩原小2年 森 奏夏さん
コメント:雪が降ってきた時、虫取り網で捕まえました!



「トンネルみーつけた☆」
二宮小1年 峰島 奏人さん
コメント:散歩中見つけた不思議なトンネル探検みたいで楽しい!

入選 4点 (順不同)



「大きなソフトクリーム!」
萩原小3年 大久保 はるさん



「へこんだ!?!」
萩原小6年 風戸 遙花さん



「自然を大切に!」
五郷小2年 風戸 杏璃さん



「元気いっぱい♪」
東部小5年 岩下 真穂さん



「貝も人もオンリーワン」
萩原小5年 草野 仁宏さん
コメント:1月某日 冬の海に行ったとき、貝殻を拾いました。自分で一番お気に入りの貝殻を選んでもらったら、みんな違う柄でした。貝殻にも個性があることにビックリ!

